

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・新年を迎えて多少は景気が良くなる。
	◎	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・コロナ禍で4～5年間低迷していたが、ようやく回復の兆しがみえてきた。
	○	商店街 (代表者)	・円も一時より高くなってきて、これから徐々に景気は上向いていく。
	○	一般小売店〔高級精肉〕 (常勤監査役)	・政府の経済対策が段々と効いてくる。
	○	百貨店 (総務担当)	・当地域の企業業績は好調で、賃上げやボーナス支給増加による消費増加が期待できる。今年は年末年始の連休が長く外出増加による来店も見込める。一時期の消費マインド低下も改善に向かうと想定している。
	○	百貨店 (販売促進担当)	・インバウンドも買物の仕方に慣れてるように見受けられ、入店客数もどんどん増えている印象を受ける。今後もますますインバウンドの来店が増加すると予測する。
	○	スーパー (経営者)	・例年2月までは来街者でにぎわう。
	○	スーパー (販売担当)	・いろいろな物価が上がり購買意欲は減っているが、時期的にイベントが多くなるため少し期待したい。
	○	スーパー (販売担当)	・1番近い競合店で閉店の噂がある。
	○	スーパー (販売担当)	・生活の基盤となる電気、ガス料金の値下げの報道があり、消費行動に良い影響が出てくる可能性がある。今年は寒さも続きそうであるため今後も季節商材や防寒用品の動きは良い見込みである。食品の値上げを勘案しても、消費動向は上向くと予想する。
	○	コンビニ (店長)	・一部ではまだ値上げがあるものの、やや落ち着いてきている。
	○	コンビニ (店長)	・今後の経済政策によって賃上げ等の効果が出てくれば、消費行動にも影響があると期待する。
	○	コンビニ (店長)	・売上が増えている。来客数は余り増えていない点が懸念されるが、うまく増やせると更に良くなる。
	○	コンビニ (商品企画担当)	・年末年始を迎え、帰省客の利用増加が見込まれる。
	○	コンビニ (本部管理担当)	・12月以降は夏季シーズンに匹敵する売上増加の時期へ突入する。新型コロナウイルスやインフルエンザの感染拡大など想定以上のイレギュラーな出来事が発生しなければ、景気は上がっていくと判断する。税制上の壁解消など更に景気を刺激するような施策を期待したい。
	○	衣料品専門店 (売場担当)	・これから1番の繁忙期を迎える。正月から成人式、就職活動などイベントがめじろ押しで、12月から3月が勝負時である。物価高騰に伴い商品単価は高くなっており、客は購入単価は上がってもお買い得なセット販売に魅力を感じている様子である。
	○	家電量販店 (フランチャイズ経営者)	・広く普及しているパソコン基本ソフトのサポート期限が来年に迫り、客のパソコンにも告知画面が出るようになりパソコン買換えの話題が増えてきた。また、広域的な組織犯罪の報道が増えるにつれてカメラ付ドアホン、センサーライトや防犯カメラなどセキュリティ機器の話も増えている。
	○	乗用車販売店 (経営者)	・1月からの初売りに期待したい。
○	乗用車販売店 (営業担当)	・車両生産の遅れなどで1月から3月が繁忙期というイメージは薄くなっているが、過去の購入でこの時期に車検を迎える客は最も多くなる。在庫車両もようやく増えつつあり、年明けは期待している。	
○	その他小売〔ショッピングセンター〕 (経理担当)	・物価高騰の影響にもよるが、足元の来客数の動向に鑑みて年末年始に向けてはおおむね堅調の見込みである。	
○	高級レストラン (経営企画)	・生活スタイルの変化から年末年始の営業には期待している。宴会などの大人数の客は減少傾向が続くが、少人数の集まりは増加しているため、機会損失を防ぐよう誘引販売促進を継続する。	

○	旅行代理店（経営者）	・旅行需要がやや戻ってきた感があるので、年明けに暖かくなると需要が喚起される。
○	旅行代理店（営業担当）	・年間の業績が見通せるような時期に入り、急きょ年内に社員旅行を計画する企業からの問合せが例年より多くなっている。
○	通信会社（企画担当）	・地元の街も人が増えて活気がみられるようになり、交通量も増えているように見受けられる。
○	パチンコ店（経営者）	・年末年始を迎えるため、今より良くなる。
○	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・インバウンド増加など円安効果が持続しそうである。
○	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・繁忙期に入ってくるため期待している。ただし、物価高がどこまで影響するか懸念する。
□	商店街（代表者）	・人出はピーク状態であり、これ以上人出が増えても売上にはマイナスになりかねない。
□	商店街（代表者）	・児童手当の給付対象が大幅に増えて金額もかなり増額されるため、その分が多少消費に回ることを期待する。それ以外に特段変化する要素はない。
□	商店街（代表者）	・仕事量に変化はないが、物が売れない。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・1月からスパークリングワインなどの値上げが予定され、飲食店での販売価格も上昇が予想される。客の飲食店への来店機会が減る傾向にますます拍車が掛かる。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価の上昇がまだこれからも続くとみられるため、期待はできない。
□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・足元の状況がそのまま変わらず続く。物価は上がり続けるが、給料は思うようには上がっていかない。すこぶる調子の良い企業もあるが厳しい経営状態の企業も多く、2極化が進んでいる。
□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・物価高が収まらず、必要最低限の物以外は買い控える傾向は続く。
□	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・国内外の政情が余りにも不安定で、先が読めない。
□	百貨店（売場主任）	・販促キャンペーンを頻繁に行っているが、関係なく自身の買いたいタイミングで購入する客が多い。以前は優待キャンペーンを目指して来店する客も多かったが、最近は効果が薄く、イベントを開催してもそれほど売上には結び付かない。
□	百貨店（企画担当）	・高額品は引き続き好調を維持している。食料品も日常的な商材の動きは鈍いが特別感のある商材は高くても動いている。今後も消費の両極化が継続し、中価格帯が回復しない状況は続く。
□	百貨店（経理担当）	・コロナ禍が明けてから徐々に回復してきた景気も、ここに来て停滞の兆しがみえる。
□	百貨店（営業企画担当）	・値上げ等がある限り、消費者のマインドが変わるにはまだ掛かりそうである。
□	百貨店（販売担当）	・現状維持が続くか物価高でやや後退するかの際どいところで、それほど大きく好転はしない。
□	スーパー（店長）	・年末年始は、買い控えがなくなりごちそう商材等が売れるとみているが、年明け以降は、今と同じ状態になるとみられる。
□	スーパー（店員）	・クリスマスから年末に向けた商戦が始まる。必需品の購入はあると考えるが、イクラ、タコやカズノコなどの値上がりかどのように影響するか読めない。
□	スーパー（店員）	・これから年末に向けてはボーナス支給などで財布のひもが緩むと期待したいが、割引商品や特価商品だけを購入する節約志向の雰囲気が見られる。
□	スーパー（支店長）	・物価上昇に加えて、特に米国や中国など海外情勢の影響が我が国の景気動向を左右する。海外での戦争や国内の政情も景気に影響するとみており、しばらくは様子見というムードが続く。
□	コンビニ（企画担当）	・個別の外的要因がない店舗は継続して好調を維持しており、この傾向は続くと考えられる。インバウンドも大きくは変動しないとみられる。
□	コンビニ（エリア担当）	・好調は維持される見込みである。今年は寒い時期によく売れる商材が好調のため、この流れのまま年明けを迎える。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・インフレの影響で買い控えがある程度継続する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・浮上する要因が見いだせない。競合店の閉店などが発生しない限り低迷が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・バーゲンセールของ時期なので、商品は正価販売よりもさばける見込みである。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・建設業関連の客は引き続き厳しい状況にあり、回復はまだ先になるとみる。県内よりも近隣他府県に仕事があるため、そちらに消費が流れている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・景気が良くなるような理由が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	・ファッション需要は低迷したまま回復の兆しがみえない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・季節商材の動きも現在と変わらなさそうであり、特に他の要因も考えられない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・所得税減税で手取りは増えているが、相変わらずの物価高で、特に食品の値上げが大きく、余裕がない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・物価高の影響で修理費など車に係る費用が高騰している。今後どのような影響が出てくるのか気掛かりである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・年末年始に金をたくさん使った人もいるため、年明けからしばらくは儉約して静かに過ごす人も多くなる。光熱費等生活インフラに係るコストも増加するため、購買に回すことができる余裕は減少する。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・今月の動きが良かったとはいえ、すぐに景気が良くなるという確信は持てない。期待はしつつも、現時点では変わらないと判断した。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・納期が掛かり、車種改良を見越して人気車種の多くが販売停止になっている上、改良後の発売日は幾度も延期が続いている。売りたいけれども売れず、商談ができない状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・新築住宅や新築マンション等は停滞しているものの、リフォーム工事や中小規模の改修工事、店舗の改修工事が出てきている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・社会情勢が安定するまでは、余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（社員）	・しばらくは米国の新政権移行などの影響もあり、為替が安定しない状況が続く。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・いろいろな物の値上げがネックになる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・収入減少にならないように営業時間の増加を計画している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・年明けはリバウンドで落ち着きそうである。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・今年は4月と9月の値上げで売上減少の見通しを立てていたが、実際の売上は前年を2%ほど上回っている。販売量の減少は課題だが、値上げに対して客も受け入れてきている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	・年末年始の宿泊需要に期待する。ただし、仕入れの全般に値上げが広がり、アルバイトを含めた人材確保も難しい。販売価格への十分な転嫁が進まず収益を圧迫し始めている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・ターミナル駅の飲食店や地下街でも空き店舗が始め、なかなか埋まる気配がない。消費者も衝動買いなどが減るなど節約志向が続いている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・依然として様子見の状況が続いているため、大きな変動はない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	・大容量サービスが定着しつつあり、Wi-Fi環境を良くしたい若い世代の申込みが増えている。今提供しているサービスを更に向上していけば、景気は良くなるのではないかと。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	・クリスマスなど冬季イベントの開催で安定した集客に結び付けたい。集客が回復傾向にあるかは、現時点ではまだ慎重な判断にたがざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・例年12月は来客数が増えるが、1月から2月は寒さが厳しくなり、雪が降ることもあって出足が悪くなる。

□	美顔美容室（経営者）	・現在のキャンペーンセールは12月で終了するが、年末には別商品のキャンペーンが始まり、年明けにも新たなキャンペーンを予定している。
□	美容室（経営者）	・賃上げ等を実施している企業もあるが、物価の上昇に追いついていないため、当分は今の状況が続く。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・原価高騰や人件費改定などコストアップ要因が重なるが、介護保険報酬は福祉用具貸与の上限価格設定があり、価格に反映できない。
□	住宅販売会社（従業員）	・いろいろな販促策やキャンペーンを講じて対応するが、しばらくは変わらないとみられる。
▲	商店街（代表者）	・余りにも物価が高くなり過ぎて収入が追いつかない。景気が良くなる先行きが見えてこない。
▲	百貨店（経理担当）	・財政悪化への不安、中東を始めとする地政学リスクや米中間の関税問題再燃が個人消費や企業設備投資の萎縮と減退を招き、景気は後退局面に向かう。
▲	百貨店（営業担当）	・足元の様子から客の買上マインドが低下している印象を受ける。
▲	百貨店（販売担当）	・しっかり寒くならないため暖活商品が伸びない。クリスマス装飾品は前年よりやや高めでも売れている。自宅で小規模に楽しむ傾向がみられるため12月も厳しそうである。
▲	スーパー（店長）	・価格競争が更に激化して、粗利益の確保が更に困難になる。
▲	スーパー（店長）	・ドラッグストアやスーパーなど競合先との価格競争で、単価は伸びない。
▲	スーパー（店員）	・引き続き担当商材の値上げがありリスクとなる。ただし、足元でも一部については、値上げの恩恵を受けて金額ベースで前年を大きく上回る商材がある。
▲	スーパー（総務）	・あらゆる物価が上昇しているため、買い控えが大きい。12月の年末商戦で回復を期待したい。
▲	コンビニ（店長）	・夏の暑さや害虫の大量発生により、みかん、りんごや柿などこの時期に売れる果実の入荷が不安定かつ高値なため、売上に影響が出そうである。
▲	コンビニ（店長）	・実質賃金が下がり続けており、節約志向がまだ続く。
▲	家電量販店（店員）	・商品の問合せや見積依頼が減っている。
▲	乗用車販売店（経営者）	・政情や世界経済の影響で為替や金利動向も不安定になり、中古車価格は低下傾向にある。新車販売においても、下取り車の値段が下がるため今後の売行きに影響が出る可能性がある。
▲	乗用車販売店（従業員）	・クリスマスや年末年始の時期なので景気も上向いてほしいが、世界情勢が不安定で各地で戦争が活発化しており、政治にも不安要素があるため悪くなると予測する。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・今後も円安が続き車両本体価格は上がる。金利も上がっているため、客の買い控えが多くなる。
▲	一般レストラン（経営者）	・飲食店の状況をみると、高価格帯の店にはそれなりに客が入っており、低価格帯の店も安ければ安いほど繁盛している。当店のような中間価格帯の店では、来客数が減っている。
▲	一般レストラン（スタッフ）	・集客のためには価格を下げたいが、エネルギー価格や仕入コストの上昇がまだ続いており難しい。今後も厳しい状況が続く。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・米国の新大統領がどのように動いてくるのか、様子見が続く。
▲	観光型ホテル（経営者）	・具体的な経済喚起策がないと景気は下降する。何の裏付けも金融的支援もなく賃上げを推進する状況が続けば、企業は人件費の上昇に備えて金を使わなくなる。次回の春闘に向けて企業心理の冷え込みが予想される。
▲	旅行代理店（経営者）	・冬は受験シーズンに加えて寒さで客足が鈍い上に円安や感染症の流行でグルメツアーの需要が減り、当地方の旅行需要は厳しい。2月の連休や春休みに向けて海外旅行商材の販売も開始しているが手応えが少ない。テレビの旅番組も増えており、円安が落ち着いたらどこかへ出掛けたいという声は多いが、具体的な計画までは決まらないため厳しい。12月から1月は燃油料が下がるため、少し期待したい。

	▲	旅行代理店（営業担当）	・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行シーズンになるため、感染によるキャンセルや今後の流行度合いによって旅行を控える動きが生じる懸念はある。海外旅行も回復しているが、新型コロナウイルス感染症発生前と比べると3割から4割程度である。
	▲	タクシー運転手	・例年年初から2月にかけてはタクシーの利用が少なくなる。
	▲	タクシー運転手	・年末年始が過ぎると正月気分も抜け、しばらくは出足が下降していく。特に2月は我慢の月である。
	▲	タクシー運転手	・先行きの経済政策が不透明で、客足にも影響する。
	▲	テーマパーク（職員）	・2月までは厳しい。
	▲	観光名所（案内係）	・値上げがまだ続く見込みで、景気には悪い影響しかない。
	▲	ゴルフ場（支配人）	・2か月先の入場者予約数は、前年同日比で余り良くない状況である。暖冬になれば好転する可能性があるが、プレーヤーが高齢化するなか、景気はやや悪くなると判断する。
	▲	理美容室（経営者）	・物価が上がり、段々と生活は苦しくなる。
	▲	設計事務所（経営者）	・先行きが全くみえない。
	▲	設計事務所（職員）	・税金に関する政策はいろいろと話し合っているようだが、景気対策の動きが見えない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・冬枯れの時期で来場者数がぐんと減るため期待できない。期待できるのは年明けになるが、住宅取得に関してどのような税制改正の大纲が発表されるかに懸かっている。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・予算に余裕がある仕事はほとんどなく、利益を度外視して受注してもギリギリの仕事は続かない。施主の様子からも懐事情や経済格差がみられる。この先賃金が上がれば、消費も活発になると期待している。
	▲	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・新築物件はほとんどなく、リフォーム工事の見積依頼は若干あるが、引き合い数は少ない。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・この半年の状況をみても良くなる動きが出てこない。物価上昇や金利上昇など実体経済と数字の動きとの乖離が大きくなっている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・物価が上がっているため、住宅ローン返済の負担増加を心配して買い控えている様子である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・建設業では仕事がないため廃業する職人が増えてきた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（社員）	・取引先で中国に移していた生産を国内に戻す動きがあるため、生産設備に使用する消耗品の受注増加が期待できる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・客先業界では年末から年度末にかけて設備投資が期待できるため、今より良くなる。
	○	輸送業（エリア担当）	・販売動向から上向きとみる。
	○	金融業（従業員）	・米国大統領選挙の結果から、いろいろな経済状況が良くなるという期待を持つ人が多い。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・政権政党は変わらないが米国の要求次第で大きく情勢が動く可能性がある。金利は上げないでほしい。インバウンドは我が国の物価の安さを話題にしており、今後は一段と円安になると予想する。
	□	食料品製造業（社員）	・景気対策が不透明で生活者の消費行動は慎重になると考えるが、嗜好品である酒の需要は堅調に推移する。
	□	化学工業（営業担当）	・自動車向け商材は引き続き低調な見込みであるが、電子材料薬品の需要は増加を見込む。
	□	化学工業（総務秘書）	・景気に特段の影響を与えるトピックが見当たらない。米国大統領選挙が終わったが、関税政策等が我が国の経済に影響を与えるのはしばらく先とみられる。
	□	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、販売量の増加はなかなか難しい状況が続く。価格が安くなっている原材料があり、今後販売価格も下がる方向になる。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・AIサーバー向け投資は好調だが、自動車向けの投資は低調が続いており、全体でみると景気が良くなるとはいえない。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みによる。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・改善の見込みは少ない。

□	電気機械器具製造業（企画担当）	・日米の経済政策がはっきりするまでは将来を見通すのは難しい。米国の対中政策は厳しくなり、今後はその対応に追われることになる。
□	電気機械器具製造業（経営者）	・年末から年度末を迎えるに当たり、足元の受注状況をみると若干減少するように見受けられる。
□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・受注量の微増がしばらく続くが、それほど劇的に良くなるわけではない。
□	建設業（役員）	・建設業は、設備投資などが順調で受注の伸びは顕著であるが、利益率の確保が課題である。住宅販売は、建築コストの上昇が販売にも影響してくる。
□	建設業（経営者）	・新内閣はようやく落ち着いてきた様子だが、将来の景気対策等は全く未知数であり、今後仕事の量が増えるかどうかは当分分からない。
□	建設業（営業担当）	・物価上昇と受注金額で利益を考えると、金額が余り高いと他社との価格競争に勝てないため見積り自体は低く抑えざるを得ないが、物価高のためもうけは少なくなる。このまま横ばいならば有難いくらいで、良くなる兆しはない。
□	輸送業（経営者）	・物量の減少に加えて、物流改善への投資気運も下がっている印象で、物流業の成長チャンスも少ない。
□	輸送業（従業員）	・物価上昇はあるものの、企業が潤うだけで従業員にまで恩恵がない結果、個人消費が伸びない。政府の原油価格抑制も終了し、ますます景気は落ち込む。
□	輸送業（エリア担当）	・前月中旬から輸送量が前年比で減少している。取扱貨物の需要先で利用が減っているのかもしれない。
□	輸送業（エリア担当）	・新内閣が発足したが、滑り出しに大きな動きはない。米国の動きに日本が影響を受けるのが常であり、米国大統領は交代するが、現時点で大きな動きは見られない。
□	金融業（従業員）	・物価は引き続き上昇する。
□	金融業（企画担当）	・中小企業にとっても適正な利益水準での受注が望まれる。採用環境の激化からある程度は賃上げをするものの、大手企業ほど上げることはできない。中小企業の賃上げまで金が回らないと個人消費も上向かず、当面は現状の景気が続く。
□	不動産業（経営者）	・今後も外出や遠出をする人は増加傾向になっていく。今後も売上は増加していき、前年を上回る状況は継続していく。
□	広告代理店（制作担当）	・年明けから冬に向けて予定するイベント等も、様々な原材料価格やコストが上がってきているため、余り期待できない。
□	公認会計士	・年収の壁撤廃に向けた議論や政権運営の安定度等により、投資などについては慎重になっている企業が多い。米国大統領選挙の結果を受け、新たな経済政策によっては景気が不安定になることが予想されるが、影響が出るのは4月以降の見込みである。
□	会計事務所（職員）	・生活者が消費に使う優先順位は決まっていて、支出を惜しまないところと節約するところがはっきりしている。この傾向は継続するとみるため、特に変化はない。
□	会計事務所（職員）	・客単価の下落による売上の減少が続く。賃上げの話はよく聞くものの実際可処分所得は余り増えておらず、身の回りのあらゆる物が値上がりしているため新たな消費に回せる金はない。可処分所得を増やす政策を続けていかなければ、景気も良くならない。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	・年末に向け更に物価高騰が予測され、家計に占める食費の割合は、一層の縮減が懸念される。
▲	食料品製造業（営業担当）	・受注数、販売数共に減少している。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・足元の景気はやや良いが、2～3か月後は季節的な需要や年末年始商戦が終了し、やや悪くなる。
▲	金属製品製造業（従業員）	・先行きの案件については余り受注の見通しが立っていないため、仕事量が積み上がるとは考えにくい。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・冬場は暖房などで電気代の負担が多くなるため、僅かな補助では補えない。
▲	輸送業（従業員）	・協力先の会社を含め各種経費はますます増えていく見込みである。段々と利益確保が厳しくなっていく。
▲	通信業（法人営業担当）	・政治と経済は表裏一体の関係にあり、政策なくして景気の好転は望めない。

	▲	通信業（総務担当）	・収入が増えない一方で物価高が続くと考えられるため、先行きが不安である。
	▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	・地元の首長が変わった。年収103万円の壁も話題に上がっているが、税収が減って個人負担の増加につながるという懐疑的な意見が目立つ。今後は就業時間の削減が1つの目安になるとみているが、当社にとって売上や人件費の改善につながる要素がなく、明るい話題ではない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・収入が上がらないのに物価だけはどんどん上がっている。賃上げが物価の上昇に追い付かない限り、景気は良くならない。
	×	鉄鋼業（経営者）	・良くなる要因が全くない。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	職業安定所（所長）	・例年と比べ年末から求人募集をしたいという声が多いなど、新規採用への意欲が高まっている。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末を迎え求職活動が減り年明け中旬以降に転職活動が顕在化してくる動きは例年と変わらないと想定しており、採用決定数の増加を期待する。
	□	人材派遣業（営業担当）	・今後数か月は動向を静観する企業が多く、景気が大きく変動する可能性は少ないと想定する。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・製造業での設計開発のニーズは、自動車関連を中心に当面高い状態が続くと考えられる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・先行きについて前向きな話題を見聞きしない。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・大手自動車メーカーの認証不正問題で生産工場の稼働停止が長く続くが、労働者派遣元企業としては、人材離れを避けるため派遣従業員に他の派遣先を紹介するなど流失を抑えている。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・足元の傾向がしばらく続くと考ええる。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・先行きに変わる材料が見当たらない。
	□	職業安定所（職員）	・まだまだ原材料価格の高騰や最低賃金引上げによる原資確保の苦慮等に関する企業の声が届いており、経営に与える影響は大きい。
	□	職業安定所（職員）	・年末に向けて個人消費や飲食需要の回復といった景気の好転につながる要素はあるが、米国新大統領の通商政策に伴う世界経済動向の不透明さ、為替や株価への影響など不安要素も多い。
	□	職業安定所（雇用開発担当）	・原材料費等の高騰や賃上げなどで収益が圧迫される企業や生産調整等により休業を行っている企業がある。
	□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・年末年始を挟みふだんよりゆったりした状況となり、求人の動きも来月から年明けまではやや落ち着く傾向にある。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・次年度に向けた学校内での就職企業説明会を来月実施予定だが、例年以上の参加申込みがあり、来年度の就職も順調とみている。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・新卒採用については、年次計画を基に実施しているケースがほとんどのため、2～3か月で採用計画自体が変わることはほぼない。
	▲	人材派遣会社（社員）	・忘年会利用の多い12月をピークに、1月の新年会利用が過ぎると足元よりも求人数は減り悪くなる。
	▲	人材派遣会社（社員）	・11月は、高年収での新規求人の受注が複数あったことが好調の要因と考えられるため、一時的な動きと判断している。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・求人内容と求職者の希望とのかい離が拡大し、採用難が更に進んでいる。
	▲	職業安定所（職員）	・今後も人員整理を行う予定の企業が複数ある。
	▲	職業安定所（職員）	・物価の大幅上昇や社会保険の適用拡大などで、事業の継続が困難と判断した事業廃止等が複数報告されている。
×	—	—	